

亀陽文庫 能古博物館 運営方針

(概要)

亀陽文庫 能古博物館は「亀井南冥とその一族による亀門学」を顕彰し関連する近世文人などの資料収蔵を中心としている。

さらに能古島と博多湾の歴史、生活文化、芸術等に関する資料を収集・保存する。また、収蔵資料の調査研究を行い、常設展・特設展等を通じて広く公開するとともに、地域の歴史・文化に対する理解を深めその継承と普及に寄与することを基本方針とする。また、他の博物館・研究機関等との連携を図り、資料の保存と活用を通じて、地域に根ざした博物館運営を行う。

1 資料の収集・保存

館の設置目的及び資料収集方針に基づき、運営基本方針に挙げた資料を体系的に収集する。受け入れた資料については登録、整理及び適切な保存管理を行い、将来にわたってその保存と活用を図る。

資料の保存にあたっては、収蔵環境の維持に努め、必要に応じて修復等の措置を講ずる。寄贈・寄託等によって受け入れる資料についても、館の収集方針及び設置目的との関連性を考慮し、適切な手続のもとで受け入れる。

2 調査研究

収蔵資料について継続的な調査研究を行う。調査研究の成果については、展示、講座、解説資料その他の方法により、可能な限り広く社会に還元する。

3 展示・公開

展示においては、亀門学及び関連文人の著述・文書・書跡・絵画等を中心に、館が収蔵する資料を計画的に公開する。資料の保存状態、資料的価値及び展示上の必要性等を考慮しながら、適切な展示替えを行う。

また、亀門学関連資料を補完する資料に加え、地域の歴史や文化を多面的に紹介する。新たに収集・受入した資料その他公開の必要性が認められる資料についても、資料の保存及び管理に十分配慮したうえで、随時展示・公開を行う。

4 教育普及及び地域との連携

展示及び収蔵資料を活用し、理解を深めることができるよう、講演会などを通じて分かりやすい情報提供に努める。

また、地域住民、学校、研究者、文化関係団体、他の博物館・資料館等との連携を図り、地

域の歴史文化の継承と普及に努める。

5 資料の調査・利用及び館外協力

学術研究等を目的とする資料の利用については、資料の保存及び館の運営に支障のない範囲で適切に対応する。

他の博物館・研究機関等からの協力出展等の要請については、資料の安全な取扱い、保存環境、その他必要な条件を確認したうえで、可能な範囲で協力する。

6 適切な館の運営

館長を中心とする責任体制のもと、学芸員その他の職員がそれぞれの職務を適切に遂行する。

また、館の事業について継続的に点検し、資料の保存状況、展示・公開の状況、利用者の意見等を踏まえながら、必要な改善を行い、地域に根ざした博物館として継続的かつ適切な運営に努める。